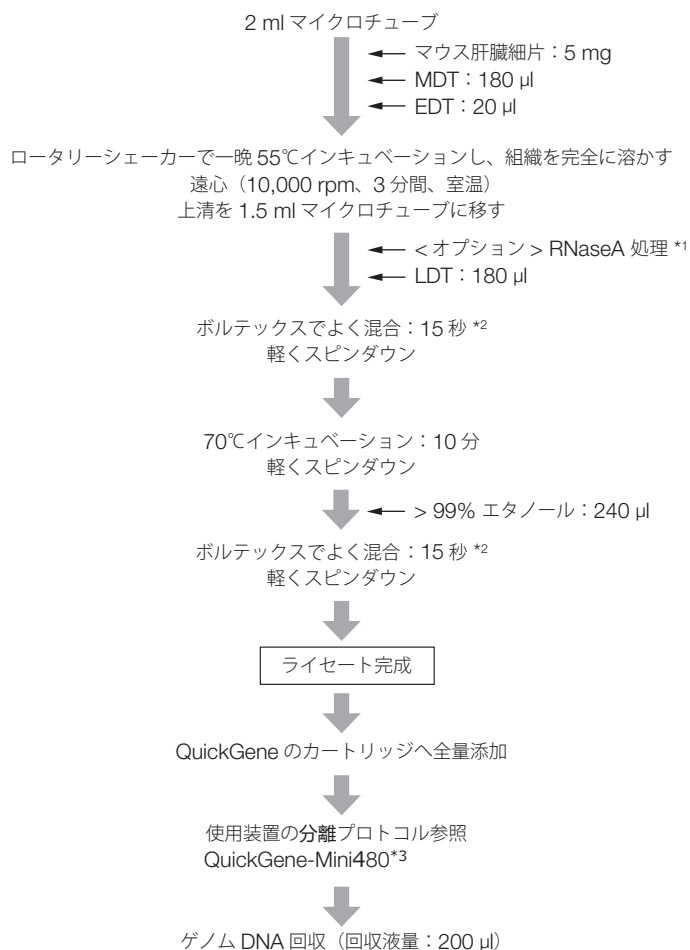


DA-b-4

マウス肝臓からのゲノムDNA分離

プロトコル



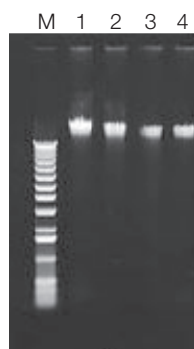
*1 オプションステップ
RNaseA : 20 µl
チューブを叩いて溶液を混合
軽くスピンドウン
室温で 2 分放置

*2 ボルテックス (最大回転数) で完全
に混合してください。
ボルテックスで混合不十分なら
ば、タッピング、ピペッティング
または転倒を使用してください。

*3 本事例は旧機種で取得したデータ
も含まれます。
その他 QuickGene シリーズでも
このプロトコルをご参考頂けま
す。

結果

電気泳動図



M : サイズマーカー
1 : 肺組織サンプル
2 : 腎臓組織サンプル
3 : 尾組織サンプル
4 : 肝臓組織サンプル

ゲノム DNA の収量

データなし

タンパク質の混入 : A260/280

データなし

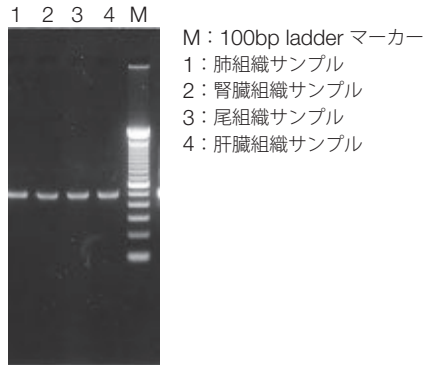
■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

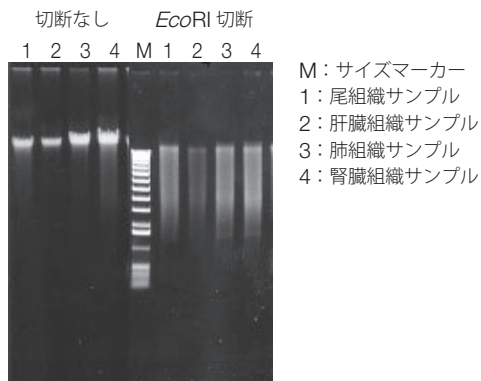
● PCR

QuickGene分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA で増幅された *G3PDH* PCR 断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



● 制限酵素切断

QuickGene分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA での *EcoRI* 制限酵素切断断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



■ 共通プロトコルサンプル

マウス肺、マウス腎臓